

平成21年度(2009年度)広島市民球場運営協議会 会議要旨

1 開催日時

平成22年(2010年)3月30日(火) 9:00~10:00

2 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者

(1) 委員

有岡 宏、大田 哲哉、深山 英樹、西川 正洋、加藤 義明、田村 鋭治、
山本 治朗、安東 善博、古川 隆、中原 律子、石津 哲次、川瀬 啓子、
曾根 幹子、下中 奈美、近藤 敏博、井巻 久一、松田 元 (17名)

(2) 広島市

秋葉市長(挨拶後退席)、米神副市長
片平都市活性化局長、新谷都市活性化局次長(兼)都心再開発部長
中川新球場調整担当課長、品川新球場関連施設整備担当課長

(3) 株式会社広島東洋カープ

勝場球団運営本部長

4 議題

- (1) 広島市民球場運営協議会の運営等について
- (2) 新球場整備事業計画について
- (3) 平成21年度施設利用実績について
- (4) 2009年カープ球団の事業実績について
- (5) 命名権について
- (6) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者 なし
報道関係者 7社

7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成21年度(2009年度)広島市民球場運営協議会資料及びその参考資料

8 会議要旨

(1) 会長、副会長の選任

広島市民球場条例施行規則第7条第5項に基づき、委員の互選により、大田委員が会長に、田村委員が副会長に選任された。

(2) 議事

会長： それでは、議事に入ります。まず、議事1の「広島市民球場運営協議会の運営等について」を、事務局から説明をお願いします。

事務局： それでは、お手元の参考資料1「広島市民球場運営協議会関係法令」をご覧ください。当協議会は、旧市民球場運営委員会に代わる組織として、広島市民球場条例第21条に基づき設置された市長の諮問機関です。現在の委員定数は20名で、本日の出席者は17名です。施行規則第8条の規定による過半数を超えておりますので、本日の協議会は有効に成立しております。以上です。

会長： 引き続きまして、議事2「新球場整備事業計画について」の説明をお願いします。

事務局： それでは、お手元の広島市民球場運営協議会資料の本編の1ページをお開きください。新球場整備事業計画についてです。新球場整備事業計画につきましては、平成19年の5月に事業計画を策定し、同年6月に広島県・経済界の方々とともに資金負担について合意しました。

お手元の(1)整備事業費の表のとおり、総事業費144億7,500万円で計画したものが、実績値としましては、144億6,300万円と土地代が1,200万円ほど減額になっており、計画の範囲内で収まっております。なお、本市では、新球場建設に併せた関連事業として、周辺道路等の整備を37億8,000万円で行っております。

次に、(2)寄附金の受け入れ状況についてです。寄附金につきましては、平成のたる募金というものを平成16年11月から平成17年11月まで行っていただき、1億2,500万円が集まりました。また、平成1

9年の10月から平成22年3月末までの期間で、地元経済界から寄附金を募集していただいております。その他、個人や法人からの一般寄附が寄せられまして、これらたる募金など寄附金の合計額は、約18億3,800万円にのぼっております。

なお、地元経済界からの寄附金につきましては、827社で16億5,900万円となっておりますが、これは平成22年3月10日現時点の実績額である15億8,400万円に3月末までの受け入れ見込み額を加えた金額としております。また、地元経済界からの寄附金のうち、計画額の11億5,000万円を超えた額につきましては、球場の機能向上を図ることで、今後、商工会議所と協議を進めていきたいと考えております。

次のページをお開き下さい。運営収支についてです。事業計画においては、収支は年間6億5,700万円で均衡する計画を立てておりました。30年の平均見込ですが、収支上は、毎年6,300万円の剰余金が発生する見込みとなっております。しかしながら、これは30年の収支見込であり、借入額の中の相当な部分を30年の中長期で借入を行っており、元金均等返済になっています。このため、開設当初から初期の返済額が多額になることから、累積収支の黒字化は16年目以降になるという見込を立てております。なお、上記の収支には、先ほどご説明いたしました、寄附金や、大規模修繕費の財源である命名権料の収入は含まれておりません。

続きまして、追加整備についてご説明します。参考資料1の3ページをお開きください。平成21年度の追加整備といたしましては、(1) JR側得点表示板を約6,700万円で整備いたしました。新幹線側から、非常によく見える表示板となっております。次に(2)太陽光発電設備を約7,600万円で整備しました。これは球場の屋根に、最高出力100Kwhの太陽光発電パネルを設置しました。4ページをお開きください。屋外トイレを、約1,400万円で設置しました。

次にカープ球団が、今シーズンに向けて観客席の改修ということで、ファミリーテラス、パーティーデッキ、鯉棧敷を整備されました。これらは新たなテーブルを設置し、団体や小グループでお楽しみいただけるというものです。それから現在は、フレームだけの整備となっておりますが、スコアボード裏に藤棚のようなパーゴラを設置しており、夏には立派な日よけが完成する予定です。このパーゴラは、市でも進めております、建物緑化の一部ということにもなります。それから、カープ球団ではバリアフリーの関係で、現在、常設の車椅子席スペース90席を31席増設し、121席とされました。それから、車椅子スペースの前面に取り付けられる簡易テーブルを新たに無料で貸し出すサービスも開始されています。

次に、今後の整備方針です。新聞でもご覧になったと思いますが、日本のプロ野球界もアマチュアや国際試合と同様に、今シーズンからボールカウントを先に表示する旨のルール改正が行われました。これに伴い、球団では、5月中を目途に、ボール、ストライク、アウトの順の表示となるよう、スコアボードとサブスコアボードの改修工事を実施される予定です。

それから(2)につきましては、先ほど、寄附金のところでご説明したとおり、地元経済界からの超過寄附金につきましては、今後、球場の機能向上に活用させていただくことにしています。3の「その他」としまして、球団創設60周年を記念して、今シーズンからファン投票により選出したカーブの歴代名選手のレリーフを西蟹屋プロムナードという球場の西側にあるスロープの手すりに順次設置していく予定となっております。以上です。

会 長： ただいまの説明について何かご質問、ご意見はございますか。

(質問、意見なし。)

会 長： ご質問等がないようですので、議事の3番目に入らせていただきますが、議事3から議事6までを一括して事務局から説明していただきます。なお、議事4の「2009カーブ事業実績」につきましては、カーブ球団からご説明をお願いいたします。

事務局： それでは、お手許の参考資料3の6ページをご覧ください。昨年、マツダスタジアムの来場者に対して、3回のアンケート調査を実施しました。1回目は5月15日(金曜日)のナイトゲーム、2回目は8月13日(木曜日)のお盆のナイトゲーム、第3回目は9月13日(日曜日)のデーゲームで、いずれも巨人戦です。入場者数は3万人以上、アンケートの有効回収数は概ね2,000件以上を目標に実施しました。

それではアンケートの調査結果についてご説明します。2の調査結果ついて順次ご説明します。まず来場者の性別は、平日、休日、お盆別で大きな違いはありません。いずれも男性が約6割、女性が約4割の構成となっております。次に年代別を見ますと、平日は60歳以上の高齢者の数が最も多くなっておりませんが、休日やお盆は30歳代、40歳代が多くなっており、参考までに旧市民球場と比べてみますと、マツダスタジアムでは40歳代以上の中高年層が増加していることがうかがえます。次に7ページの「自宅住所地」を見ますと、休日やお盆では県外からの来場者が多く、平日は市内の来場者が多くなっており、

次に「野球観戦後の目的地までの交通手段」について見ますと、いずれもJR、自動車が他の交通機関を大きく上回っております。JRは休日よりも平日の利用割合が高く、逆に自動車は平日よりも休日、お盆の割合が高くなっております。

次に8ページの「野球観戦後の予定」については、2回目、3回目も来場者の約9割が帰宅層となっております。なお、この項目は、第1回目のアンケート調査では設定していませんでした。

次に、「マツダスタジアムの評価」についてです。これは3回目のアンケート調査のみでの結果となっております。「球場の楽しさや飲食サービス」、「職員、スタッフの接客態度や案内」、「球場の清潔度」、「場所のわかりやすさ」、「球場の使い勝手や安全性」の5項目について満足度を調査しました。すべての項目において「満足」と「やや満足」の合計が約7割程度となっており、この球場に対して高い評価をいただいているものと考えております。これらの項目に対する主な意見は、9ページに載せています。以上です。

カープ： それでは、「2009年カープ球団の事業実績について」をご説明します。本編資料の3ページをお開きください。(1)のプロ野球入場者数、公式戦入場者数ですが、2009年は、おかげさまで過去最高の入場者数を達成することができました。(2)の経営状況につきましては、入場者数の増加を主因に、2009年の売上高が約117億円で前期比約65%増、当期利益は約4億円で前期比約82%増となり増収増益の結果となりました。(3)の地域貢献活動につきましては、その詳細を参考資料4として別に添付しております。今後とも地域と地域、世代と世代を結ぶ活動に取り組んで参りたいと思っております。以上です。

事務局： 引き続きご説明します。広島市民球場運営協議会資料本編の2ページをお開きください。先程のご説明で、3の「平成21年度の施設利用実績について」の説明を失念しておりました。

(1)の「施設利用日数」でございます。プロ野球興行が、オールスター他球団の練習日等を加えて77日、これにアマチュア野球やイベントその他、コンコース開放、雨天中止を加えた合計が212日となっております。さらに球団の自主事業としてコンコース開放、これは先ほどの再掲になりますが、73日の7万5,465人、スタジアムツアーが91日の1万2,354人、合計164日の8万7,819人となっております。

4ページの5の「命名権について」です。命名権につきましては、本日も

御出席のマツダ株式会社様から「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」、略称「マツダスタジアム」という名称でご提案をいただき、契約期間5年間で年間消費税込み3億1,500万円でご契約いただいております。なお、命名権につきましては、金銭だけではなく、社会貢献活動を実施していただき、地域に貢献するパートナーとしての役割も果たしていただいております。

平成21年度の実績についてです。まず、グリーン電力購入ということでマツダスタジアムのプロ野球及びアマチュア野球で使用するナイター照明の一部が消費する電力によって発生するCO2約9.2トン、グリーン電力購入によりオフセットしています。

それからマツダスタジアムの開設から来場者100万人ごとに福祉車両1台を贈呈していただいております。昨年度は平成21年9月29日に、はぐくみの里「ワークプラザひがし」へマツダビアンテを贈呈していただきました。

それからヘリテージコーナーとして広島市、カープ球団、マツダ株式会社の歴史等を展示するコーナーを球場内3階コンコースに設置しております。さらに、マツダ株式会社のグローバルオフィシャルWEBサイト等各種媒体を通じて球場の情報を発信していただいております。以上が平成21年度の実績でございます。

平成22年度も、引き続きこれら4項目を実施していただくとともに、今年プロ野球シーズン中に、10回程度、球場周辺の清掃及び散乱ごみ追放キャンペーンを実施していただくことになっております。

次に5ページをお開きください。先程、秋葉市長が冒頭挨拶でもご紹介しましたが、マツダスタジアムの非常に優れたバリアフリー化の取組が評価され、平成22年1月19日に、前原国土交通大臣から「第3回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞しました。以上です。

会 長： ありがとうございます。ただいまの説明に対して何かご意見、ご質問はありますか。

本編資料の3ページの(2)のカープ球団の経営状況ですが、2009年は売上が117億という大きな額になっている一方で、当期純利益がそれほどでもない理由はどこにあるのでしょうか。

委 員： 一つは警備コストや試合経費が相当かかっています。球団としては常に黒字体質を維持したいということです。今回、マツダスタジアムに投資した金額の一部を前倒しで償却しています。したがって、現実の数値とは若干違った形になっています。

委員： おおよそどの程度の入場者数があれば、球団経営としてとんとんぐらいになると見込んでおられますか。

委員： 旧市民球場の時代は110万人をベースに考えていましたが、現在は概ね130万人程度をベースに考えていく必要があると思っています。資料にある数字は公式発表の数字ですが、この中には年間指定席や当日入場券を買われて来られるお客様などが含まれています。

このため、年間指定席等のお客様を除いて考えていけないという意味で、一つの目安として130万人から140万人という数字があると思います。チーム状態にもよりますが、目標としては昨年度並みを念頭に置きながら、最低でも150万人、営業努力して165万人程度は見込めるのではないかと考えています。

会長： 昨年の180万人程度だと12球団の何番位に入りますか。12球団の間よりは上になりますか。

委員： やはり上位は巨人や阪神だと思いますが、中間よりは上にいくのではないかと思います。

委員： それともう一つは、公式発表の数字をどう考えるか、例えば、180万人という数字が出たとしても、売上高という金額に換算すると低い場合もあるのではないかと思います。カープは、入場者数と売上が比較的一致していると思っていただいてよろしいと思います。

会長： ネーミングライツの効果についてはどのようにお考えでしょうか。

委員： 金額以上の大変大きな効果があると思っています。新幹線の中でも、マツダスタジアムで試合をやっていることが放送され、予想していなかったようなことが起こっていると、大変ありがたいと喜んでいます。

それと、市長の挨拶の中でもマツダスタジアムと言っておられますが、マツダスタジアムというのはあくまでもニックネームです。社内では広島市民の球場であるということを常々言っています。我々自身からはマツダスタジアムという名前を言うな、我々は市民球場と呼ぶように言っております。

委員： 参考資料3を見ますと、県外からたくさんお見えになっています。何万人集客すればいいかということですが、我々協力してどうやってお客さんを呼

ぶか、そういうノルマが必要だということを是非今日ここで提案したいと思います。

今日は阪神戦ですが、少なくとも広島市の人口と阪神タイガースがある関西の人口をどう考えるかを、皆で考えていく必要があるのではないのでしょうか。もちろんカーブに頑張っていただかないといけないのですが、球場に応援に行くことも我々の仕事ではないでしょうか。

会 長： ありがとうございます。消費者団体の方から何か評価等がありますか。

委 員： やはり今おっしゃったように市民としてもしっかり応援していかなければならないということを改めて感じています。

先程の説明の中で、球場の使い勝手や安全性については、是非改善していかなければならない部分だと思います。場外トイレは最近完成したとお聞きしましたが、入場待ちの時に屋根がなくて暑いとか、あるいは寒いとかそういう意味での使い勝手や安全性を考えていたのですが、そのあたりはしっかりとアンケートの結果を踏まえ修正していく必要があると思います。

会 長： 事務局の方から何か意見がありますか。

事務局： 場外トイレにつきましては、先程もご説明しましたとおり、本年2月に完成しております。使い勝手につきましては、現在のところ、1箇所だけですが、今後球場に隣接する周辺開発等の状況もあります。また、入場待ちの暑さ対策につきましては、今後の検討課題の一つとして球団とも相談をしながら進めていきたいと思っております。

会 長： 暑いというのはどの部分のことを言っておられるのでしょうか。

委 員： アンケート調査に書いてある部分です。

事務局： アンケートの調査の結果を見ると、入場前にプロムナードの方でお待ちの方がおられましたが、そこは屋根がありません。あとコンコースもすべてに屋根があるわけではなくて、具体的にはその当たりのことがアンケートの中で示されているのではないかと考えております。

会 長： 暑さ寒さが感じられるのも、またいい面ではないでしょうか。

委員： 広島駅から球場まで何回か歩いたのですが、雨に濡れずに行けるような、例えば何か屋根を架けるような構想はないのでしょうか。

事務局： 現在、広島駅からマツダスタジアムの間は、試合の開始前と開始後、警察の判断で交通規制を行って、歩行者の誘導を処理しています。抜本的な対策としては、ペDESTリアンデッキのような歩行者専用道を検討しており、こうしたものができれば屋根付きのということは可能になると思いますが、現在の歩道に屋根を架けることはできません。当分の間は、現行のままで対応していくことになると思います。

会長： 他に何かありますか。

委員： 球団の事業で、コンコースの開放とスタジアムツアーがあって、約8万人の方が来ておられますが、これは無料ですか。

委員： スタジアムツアーは有料ですが、コンコースの開放は無料です。スタジアムツアーは係員が付いてご案内しています。それと、現在、市の教育委員会と協議中なのですが、小学生の課外授業のような方法で、無料でご案内できればと考えています。

委員： 非常にいいことだと思います。

委員： 広島の印象も随分上がってくると思います。球場によったら高い見学料を取って中を見せる所も多いですね。

カープ： スタジアムツアーについては、有料でバックステージツアーとして普段ご覧いただけない施設を含めての見学ツアーとして実施しております。コンコース開放は無料で、球場の周り約600メートルのコンコースを自由に歩いていただいております。

委員： いいんじゃないですか。試合のない時にも見たい方は随分多いですから。

委員： 一言お礼を込めて申し上げたいのですが、ピンクリボンキャンペーンを実施しておりまして、「カープ球団の地域貢献活動」の10番目にこの名前を載せていただいています。松田オーナーの決断で動かさせていただき、その力をいただいて、私どもも地域に波及していくようにと頑張っています。

委員：カープ球団の地域貢献活動は、12球団の中でトップに位置するぐらい、大変素晴らしい取組だと思います。これ以外にも例えば国際貢献、すでに単発でもなさっているのではないかと思います、やはり国際平和文化都市広島のアピールの一つとして、載せられたらよろしいのではないかと思います。

会長：何かコメントをお願いします。

委員：球団の使命として、地域と地域を結び、世代と世代を結ぶという形で、何かできればいうことを常に思っております。国際的な活動というのは、様々な方がお見えになりますから、我々がご案内できることはできる限りやっております。

また、市立大学のインターンシップとして、半年間、ドミニカ共和国に、学生1人を派遣しています。私が送る時に、不安に思っていた子が真っ黒な顔をして、自信に満ちた顔をして帰って来るのです。ドミニカでは山羊の飼育を担当しているのですが、大変立派な人間になって帰ってきます。

会長：もちろん野球もやってもらうのでしょうか。

委員：野球はやりません。市立大学から推薦していただいた学生を、私どもがドミニカに派遣して国際交流を行ってもらっています。

委員：大変な重要な人材育成になっています。

委員：こうした人材が広島という地域で活躍してくれればと思っています。

委員：今の話に関連しますが、球場はエンターテインメントの拠点になるわけですが、広島に少ない文化の一大拠点として、みんなで盛り上げていくようにできればと思います。球団もこの辺については強気でやっていただければと思います。それを活用していけば、修学旅行の生徒の集客にもつながると思います。是非、商工会議所でも検討していただければと思います。

会長：また一緒に協議させていただきましょう。

事務局：資料の説明をさせていただきます。本編資料4ページの命名権についてですが、この中の社会貢献活動につきましては、命名権の募集をした際に、命名権の金額のご提示と併せて社会貢献活動についてもご提案をいただくと

ということでお話していただいているものです。その社会貢献活動の内容につきましては、マツダさんからのご提案ということで実施しております。

会長： 先ほど、社内ではマツダスタジアムではなく市民球場と呼ぶように言っているというお話がありましたが、逆に市民だけから寄附をもらっているわけではないので、市民球場と言ってもらいと困る方もいると聞いています。その他、何かありましたらお願いします。

委員： 広島は観光は少し変わっていて、これだけ有名でありながら、端的に言うと宿泊客が少ないのです。宮島で300万人から330万人ぐらいですかね。それ以外は、平和記念公園が130万人から140万人、大和ミュージアムで100万人を切りまして、その後は安佐動物園なんですよ。観光客の方は、宮島と原爆ドームを見て、道後温泉や湯田温泉に行っています。ビジネス客の方は、宿泊数がものすごく多いのです。一方で観光客の宿泊の比率が著しく低いのです。もちろん野球をする、見るというのがこの球場の使命だと思えますけども、ナイターの場合、必ず泊まってくれるわけですし、飲食の方に流れる方も相当いらっしゃるの、むしろ観光拠点のような捉え方をしてもいいのではないかと思います。

そんなことも含めて県ではBUYひろしまのキャンペーンを展開しています。昨年夏に一度、コンコースの辺りを使わせてもらって、広島の県産品、試食などもできるようにしたのですが、できれば県外のお客さんに是非体験してもらいたいと思っています。その意味も込めて、是非球場を観光の拠点にしてもらって、自由度を高めていければよいと思います。

会長： 球場の中で県産品を試合中に販売できるようなスペースは取れるのですか。

委員： バックスクリーンのそばにウッドデッキがありますが、ここで例えば、湯布院、庄原、日南などから、自分達の売り物を持参して販売されています。今年はJALとタイアップして、北海道の物産を開催されましたが、大変に人気がありました。

会長： 観光連盟や観光コンベンションビューローなどが主催して、県産品を販売する方法もあるのではないですか。

委員： おっしゃっていただければ、協力させていただきます。

会 長： それと、参考資料 8 ページにありますがお盆は 10. 1 パーセント、約 1 割の方がホテルへ帰っておられますね。したがって、宿泊に対しての効果が全くないわけではないですね。

委 員： 旧市民球場の時には宿泊効果はなかったと思います。ほとんどが自宅か流川ではないでしょうか。デーゲームの時には 2. 8 パーセントと少ないけれども、これでも宿泊効果はあるのですね。

事務局： 観光に関しては、特に修学旅行生などの団体については、既に誘致コースに組み込んであります。修学旅行の誘致担当課長が全国を回っていますので、観光コースを提示する時に、平和学習だけではなく、マツダスタジアムでの見学や野球観戦も売り物にする取組を昨年からはじめています。

会 長： その他、事務局から何か説明が残っていますか。もうよろしいですか。

事務局： はい。

会 長： 他にないようでしたら、本日の協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上。

議事録署名者

大田 哲哉